

## 活動の経過

表 1 日本小児がん看護学会学術集会の開催

年度	学術集会（会場・テーマ）	会長（所属）	看護師の 参加数	備 考
2003年	設立準備会(東邦大学)		18	研究会設立
	第1回日本小児がん看護研究会 (北里大学相模原キャンパス) 小児がんのこどもの権利と意思決定	丸 光恵 (北里大学看護学 部)	216	
2004年	第2回日本小児がん看護研究会 (国立京都国際会館) 小児がんをもつ子どもと家族へのケアの検証と 創造	内田 雅代 (長野県看護大学)	450	日本小児がん学会・ 日本小児血液学会との 合同開催
2005年	第3回日本小児がん看護研究会 (栃木県総合文化センター・宇都宮東部ホテル) 小児がんをもつ子どもと家族へのケアの検証と 創造	森 美智子 (日本赤十字武蔵 野短期大学)	450	合同開催
2006年	第4回日本小児がん看護研究会 (大阪国際会議場) 小児がんをもつ子どもと家族へのケアの検証と 創造	安達 弘美 (大阪府立母子保 健総合医療センタ ー)	360	合同開催
2007年	第5回日本小児がん看護研究会 (仙台国際センター) トータルケアの原点に戻る －子供と家族の継続的支援－	塩飽 仁 (東北大学医学部 保健学科)	610	合同開催
2008年	第6回日本小児がん看護研究会 (幕張メッセ国際会議場) トータルケアの原点に戻る －最先端医学との融合－	吉川久美子(聖 路加国際病院)	700	合同開催
2009年	第7回日本小児がん看護学会 (東京ベイホテル東京) 君の笑顔 みんなの夢 －10代の患者のトータルケア－	丸 光恵 (東京医科歯科大 学大学院)	495	合同開催
2010年	第8回日本小児がん看護学会 (大阪国際会議場) 叡智の結集－過去、現在、そして未来へ－がんの 子どもと家族に寄り添う支援－	藤原千恵子 (大阪大学大学院)	500	合同開催

2011年	第9回日本小児がん看護学会 (ベイシア文化ホール 前橋商工会議所) 小児血液・がん医療の新たなるステージに向 かってー小児がんの子どもと家族が望む看護 支援の実現ー	下田あい子 (群馬県立小児医 療センター)	387	合同開催
2012年	第10回日本小児がん看護学会 (パン フィコ横浜) 共存の医学・協調の医療～社会に巣立ちゆく子 どもたちのために～ ー未来を拓く小児がん看護のパラダイムシフト ー	梶山 祥子 (神奈川県立こど も医療センター)	534	合同開催
2013年	第11回日本小児がん看護学会 (ヒルト ン福岡シーホーク) 『わ』をもって尊しーこどもの未来への和・輪・ 倭ー 「つなぐ・つながる・支えあう～子どもと家族と ともに歩む小児看護～」	濱田裕子(九州 大学大学院 医学 研究院)	514	合同開催
2014年	第12回日本小児がん看護学会 (岡山コ ンベンションセンター) 『子どもたちの“生きる力”を支える全人的 ケア (whole person care) ー子どもと家族 の思いに沿った先を見通した移行期支援ー	猪下光 (岡山大 学大学院保健学研 究科看護学分野)	451	合同開催
2015年	第13回日本小児がん看護学会 (山梨 甲府) 「子どもたちの生きる場を繋げる病院・学 校・地域の連携」	石川眞里子 (山梨大学大学院 総合研究部 育成 看護学講座)		合同開催
2016年	第14回日本小児がん看護学会 (東京都 品川プリンスホテル)	石川福江(杏林 大学看護学部)		合同開催

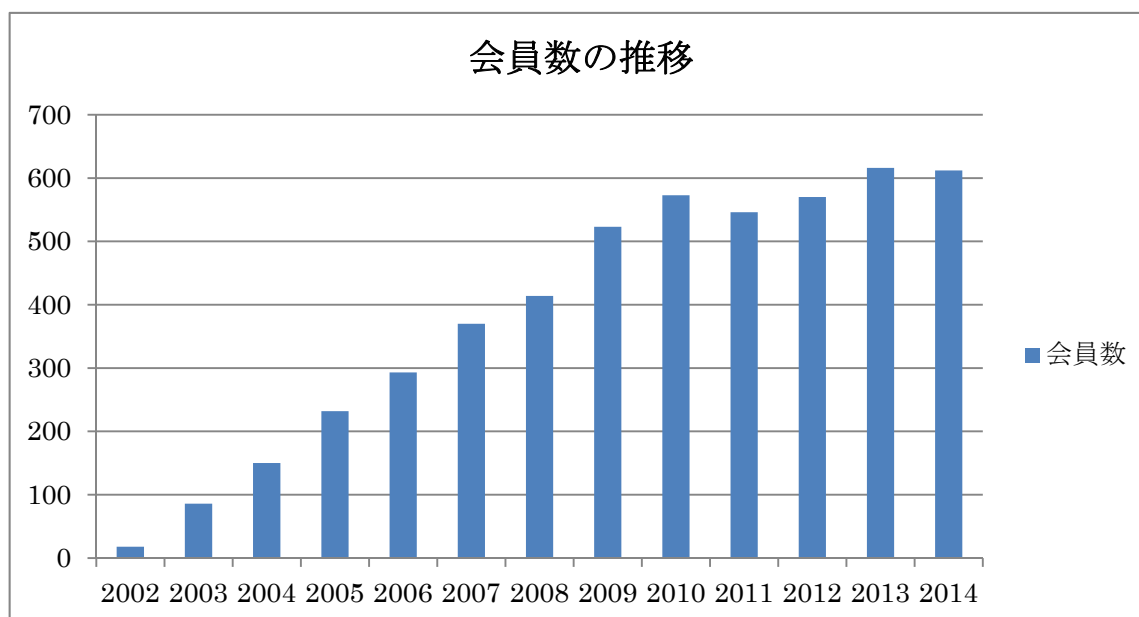


図 1 日本小児がん看護学会の会員数の推移

表 2 活 動 概 要

年度	学会誌	ニュースレター	役員活動
2003年		NL,Vol1号を発行	役員会 5/年 議事録は会員用MLにて逐次報告。 第1回日本小児がん看護研究会を開催（看護単独開催）
2004年		NL,Vol2号を発行	役員会 6/年、議事録は会員用MLにて逐次報告。 第2回日本小児がん看護研究会を日本小児血液・がん学会との合同開催とした。科研「小児がんをもつ子どもと家族の看護ケアガイドラインの開発と検討」を研究会事業として活動開始
2005年	会誌第1号を発行	NL,Vol3号を発行	役員会 5/年、第3回日本小児がん看護研究会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がんをもつ子どもと家族の看護ケアガイドラインの開発と検討」を研究会事業として継続。
2006年	会誌第2号を発行	NL,Vol4号を発行	役員会 5/年、第4回日本小児がん看護研究会を医師の学会との合同開催とした。

## 資料 1

2007年	会誌第3号を発行	NL,Vol5,6号を発行	役員会 5/年、第5回日本小児がん看護研究会を医師の学会との合同開催とした。第3回関東地方研修会「子ども達への病気説明や告知」をテーマに実施。科研「小児がん看護ケアガイドライン（第一試案）」作成。
2008年	会誌第4号を発行	NL,Vol7,8号を発行	役員会 5/年、第6回日本小児がん看護研究会を医師の学会との合同開催とした。科研『小児がん看護ケアガイドライン 2008』作成
2009年	会誌第5号を発行	NL,Vol9,10号を発行	理事会 5/年、第7回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がんの子どもと家族を中心とした多職種協働チームの看護師支援プログラムの開発」を研究事業として活動開始。
2010年		NL,Vol11,12号を発行	理事会 5/年、第8回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がんの子どもと家族を中心とした多職種協働チームの看護師支援プログラムの開発」を研究事業として継続。
2011年	会誌第6号を発行	NL,Vol13,14号を発行	理事会 5/年、第9回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がんの子どもと家族を中心とした多職種協働チームの看護師支援プログラムの開発」を研究事業として継続。
2012年	会誌第7号を発行 (10周年記念記事を掲載)	NL,Vol15,16号を発行	理事会 5/年、第10回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。小児がん看護 10周年記念事業を開催 科研『小児がん看護ケアガイドライン 2012』作成
2013年	会誌第8号を発行	NL,Vol17,18号を発行	理事会 5/年、第11回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。
2014年	会誌第9号を発行	NL,Vol19,20号を発行	理事会 5/年、第12回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がん看護の標準化を目指した『ガイドライン』の臨床活用の検討とケアモデルの開発」を研究事業として活動開始
2015年	会誌第10号を発行	NL,Vol21,22号を発行	理事会 5/年、第13回日本小児がん看護学会を医師の学会との合同開催とした。科研「小児がん看護の標準化を目指した『ガイドライン』の臨床活用の検討とケアモデルの開発」を研究事業として活動継続

表3 教育委員会活動

年度	研 修 会 (会場)	テ ー マ	参加者
2004年	第1回小児がん看護研修会 (神奈川県立保健福祉大学)	小児がんの症状コントロール	112名
2005年	第2回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がんの在宅ケア	101名
2006年	第3回小児がん看護研修会 (神奈川県立こども医療センター)	子どもたちへの病気の説明や告知	125名
2007年	第4回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がんの子どものQOL	111名
2008年	第5回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	長期フォローアップの現状と展望 ～看護の役割を考える～	127名
2009年	第6回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がん看護におけるグリーフケアを考える	208名
2010年	第7回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がん患者の症状マネジメント (1) 嘔気・嘔吐	83名
2011年	第8回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がん患者の症状マネジメント (2) 口腔粘膜障害	80名
2012年	第9回小児がん看護研修会 (パシフィコ横浜)	小児がん患者の症状マネジメント (3) 下部消化 管粘膜障害：下痢、陰部・臀部の皮膚トラブル	70名
2013年	第10回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がん患者の症状マネジメント (4) 疼痛マネジメント	68名
2014年	第11回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	小児がん患者の家族へのアセスメント ～日頃の家族との関わりを振り返ってみよう～	53名
2015年	第12回小児がん看護研修会 (国立成育医療センター)	子どもの治療への参加 ～意思決定を支える看護～	52名

表 4 国際小児がん学会参加と海外研修等

年度	開催国	病院訪問および研修先	記事開催
(2004)	第 36 回 SIOP Norway (Oslo)	Medizinische Hochschule Hannover: Germany The Queen Silvia Children's Hospital: Sweden	
(2005)	第 37 回 SIOP Canada (Vancouver)	City of Hope Comprehensive Cancer Center, St. Jude Children's Research Hospital: USA	第 1 号に掲載
(2006)	第 38 回 SIOP Switzerland (Geneva)	Great Ormond Street Hospital for Children (GOSH) , Richard House Children's Hospice (RHCH) : UK	第 2 号に掲載
(2007)	第 39 回 SIOP India (Mumbai)	Tata Memorial Hospital : India	第 3 号に掲載
(2008)	第 40 回 SIOP Germany (Berlin)	AMC Emma Children's Hospital: Netherlands	第 4 号に掲載
(2009)	PONF(pediatric oncology nursing forum)  第 41 回 SIOP Brazil (Sao Paulo)	33th APHON(Association of Pediatric Hematology/Oncology Nurses):USA , Children's Hospital Los Angeles (CHLA) PONF (Pediatric Oncology Nurses Forum) :UK St James University Hospital (Leeds) ,Great Ormond Street Hospital for Children(London)	第 5 号に掲載
(2010)	第 42 回 SIOP USA (Boston)	Dana -Faber/Children's Hospital Cancer Center Washington National Children's Medical Center : USA	第 6 号に掲載 第 8 号に掲載
(2011)	第 43 回 SIOP New Zealand (Auckland)	The Children's Hospital at West mead, Bear Cottage (Children's Hospice) :Australia Tour of Starship Children's Hospital	第 7 号に掲載
(2012)	第 44 回 SIOP UK (London) 第 7 回 SIOP Asia	第 45 回 SIOP UK (London)	第 8 号に掲載
(2013)	第 45 回 SIOP (Hong Kong)	Queen Mary Hospital (Hong Kong)	第 9 号に掲載
(2014)	第 46 回 SIOP (Canada, toronto)	The Sick Kids Children's Hospital (Toronto)	第 10 号に掲載
(2015)	第 47 回 SIOP (South Africa)		未掲載